

〇年 〇月 〇日

一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター 理事長 様

サプライチェーン温室効果ガス排出削減計画書

当社は、原料調達・製造・物流・販売・廃棄等を通じた、サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量の削減を下記のとおり計画（以下、サプライチェーン温室効果ガス排出量削減計画という。）し、（法人名 株式会社〇〇）が〇年〇月〇日付けで申請の京都府サプライチェーン省エネ推進事業を、下記の計画に位置付ける事業として認めます。

記

以下表の1～8について、例示（赤字）を参考に記入して下さい。

温室効果ガス排出量削減計画	
1	【必須回答】自社の温室効果ガス排出量（〇年度〇トン- CO ₂ ） 2022年度 5,000 トン- CO ₂
2	【必須回答】自社の温室効果ガス排出量削減目標（〇年度までに〇年度比〇%削減） 2030年度までに 2013年度比 46%削減
3	【必須回答】省エネ促進や再エネ導入等、脱炭素化に資する取引先との対話（自由記述） ・協力会を設け、年に数回、省エネ等に関するセミナーを実施 ・省エネ促進や再エネ導入に向けて、要請やアドバイスをを行っている。
4	【必須回答】Scope3※の温室効果ガス排出量の目標設定状況（自由記述） <u>（記載例に関わらず、Scope3については、主なカテゴリについてのみ自由に記載可能です）</u> ・カテゴリ 1（購入した製品・サービス）で2030年に2013年度比30%削減 ・カテゴリ 15（投資）で2030年に2013年度比30%削減 など
5	TCFD、SBT等の国際認証制度の認定取得状況等（自由記述） TCFDへの賛同(2019)、SBTの認定取得(2022)など、積極的に取り組んでいる。
6	Scope3※の温室効果ガス排出量の算定状況（自由記述） ・環境省等が公表しているScope3の算定方法に従い、主要な取引先の温室効果ガス排出量を算定
7	Scope3※の温室効果ガス排出量削減に係る課題認識（自由記述） ・自社製品に係るカーボンフットプリントの算定 ・自社のサプライチェーンでの脱炭素化に向けた意識向上
8	サプライチェーンでの廃棄物減量化等による温室効果ガス排出量削減の取り組み(自由記述) ○ サプライヤーから製品メーカーに部品を輸送する際に使用する資材（梱包等）削減や材質の見直し ○ 設計・開発プロセスにおけるサプライチェーン全体での廃棄物削減に向けた工程最適化や部品の標準化や再利用性の強化等の検討

※ 本表で記載する Scope3 やカテゴリの考え方は、環境省及び経産省が定める「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン Ver. 2.5（2023年3月）」に準拠するものです。

所在地 ○○○○○○

名称（法人名） ○○○○○○

代表者 役職名

氏名 ○○○○○○

※代表者のほか、本計画に権限を有する者でも可（押印省略可）

担当者 役職名

氏名 ○○○○○○

連絡先 電話番号